

共に学び、新しい価値を

平成25年度「はだの次世代リーダー塾」活動実績

第1回講義 6月19日(水)

強い財務体質をつくるには

～キャッシュフローや資金繰り、銀行の活用方法など～
・講師：高木敦也氏(株)ASA Business Development)

第2回講義 7月17日(水)

営業力を強化するには

～いかにして自社の技術・製品をPRし、販売につなげるか～
・講師：高山綾子氏(h-polish代表)

夏季特別イベント

講演 「下町ボブスレーと地域連携」

・講師：舟久保利和氏(株式会社昭和製作所・代表取締役社長)
[プロフィール] 2004年順天堂大学スポーツ健康科学部卒。
06年昭和製作所入社。09年常務、11年副社長、
13年8月に社長就任。東京都出身、33歳

第3回講義 9月18日(水)

「5S」とその効果ついて

～経営と現場の整備がロスを減らす～
・講師候補：小林啓子氏(社団法人中部産業連盟東京本部経営
革新事業部上席主任コンサルタント)

第4回講義 10月16日(水)

社員のメンタルヘルスを職場の「チーム力向上」につなげる

～社内環境と生産性の関連について～
・講師候補：楠浩未氏(スタータ代表)

第5回講義 11月13日(水)

次代のビジネスと秦野の産業活性化のためのPM

(プロジェクトマネジメント)
・講師：石川和幸氏
(サステナビリティ・コンサルティング代表取締役)

第6回講義 12月18日(水)

日本のモノづくり技術神話の再興

～新興市場やアジア諸国などのグローバルコミュニケーションに
ついて～
・講師：吉川良三氏(元サムスン電子常務/東京大学大学院経済
学研究科ものづくり経営研究センター特任研究員)

秦野市(はだのし)

位置：神奈川県中央の西部にあり、東京からは約60km、横浜
から約37kmの距離にある。
面積：103.61平方km。
総人口：16万9081人(平成22年国勢調査に基づく推計人口)
製造品出荷額：約6500億円(平成20年度)電子部品、
情報機器、輸送機、電機などの比重が高い。



講師 吉川 良三氏

東京大学大学院経済学研究科
ものづくり経営研究センター特任研究員

国際化時代に「秘伝のタレ」を

日本のモノづくりは時 代に合わなくなったのでは一日三食を食べられな はないかと思いついたの になりまして。わす は、アジア通貨危機の起 った97年のことです。 韓国はあつという間に外 表する企業であるサムス ンの電子の連結営業利益 業は、これからもつと駄 目になっていくのではし ょう。 産業構造のパラダイム が大きく変わりました。 日本企業の付加価値率 は、ここ数十年ほとんど 上がっていません。特に 製造業の低下が顕著で す。日本のモノづくりは、 自分で作ったモノを 売る発想でした。しか し、新興国が経済成長し て市場が大きくなる中で は、新興国の消費者が欲 しいモノを作る、売れる モノを作ることが重要に なります。 「グローバル化」と は、市場として期待され る所に工場や拠点を置 きます。その国の文化に合 った地域密着型モノづく りをすることです。日本企 業は、海外に工場や拠点 を持っている、海外の企 業に投資しているという 「国際化」にとどまっ ています。製品は現地の要 求に係わらず立派なモノを 日本で設計したモノを安 い労働力を求めて海外生 産しただけです。これで はグローバル化の段階と はいえません。 グローバル化と並ぶ大 きな変化が、アナログモ ノづくりからデジタルモ ノづくりへの変化です。

グローバル化と並ぶ大 きな変化が、アナログモ ノづくりからデジタルモ ノづくりへの変化です。 情報さえ持っていれば、 誰でもどこでもモノ を作れるようになりま した。ハイテクであれば あるはずです。携帯電話 も液晶テレビも差別化で きなくなっています。デ ジタルモノづくりへの変 化は、日本にとって致命 的でした。 グローバル時代におい て中小企業が生き残る道 は何でしょうか。国内外 を訪ねるなかで、新潟県 燕市における産業構造の 転換を見るうち、グロー バル時代は中小企業にと つて最大のチャンスだと いうことが分かってきま した。つまり、秘伝のタ レ、なければ生き残り ない、あれば生き残れる ということです。 燕市は、江戸時代の和 瓦からキセル、近代に は洋食器、現在は鍋類と 主役が移り変わってきま した。洋食器のイメージ が強いかもしれませんが、 これは段階の一つにすぎ ません。今は沸騰し ても触れるIH対応の鍋 が盛況です。この技術的 な背景には、鍛金技術と 彫金技術が一体となつて 発達した、真ちゅう器の 細工職人の技術がある、 カナモノの生産を守り続 けてきた、マネたたくて もマネできない競争優 位のある技術、簡単にマ ネできない技術の組み合 わせ方をもちました。こ れが、秘伝のタレ です。 目を向けるべきは、製 品ではありません。「自 動車部品」と言つと、自 動車産業がつぶれると駄 目になります。作るモノ は何か、秘伝のタレは何 か?技術と人はお金で買 えますが、組織と伝統は お金では買えません。ぜ ひ、みなさんの秘伝のタ レが何なのかを見極めて 下さい。 日本の企業や産業は、 今はただ抜かれただけ です。これから抜き返せ ばよいのです。かつて米 国企業も日本企業に抜か れましたが、後に抜き返 ししました。学ぶものは 直ぐ。グローバル化のな かで、一度一度自らの事 業と自らを見つめ直す機 会を得られれば、必ずや 抜き返せると思います。

日本のものづくり技術神話の再興 グローバル時代における新興市場 などのコミュニケーションについて

2013年12月18日に開いた最終講義は、東京大学大学院経済学研究科ものづくり経営研究センター特任研究員で元サムスン電子常務の吉川良三氏を講師に招き、「日本のものづくり技術神話の再興」グローバル時代における新興市場などのコミュニケーションについて」と題した講義とした。吉川研究員は、日本の全産業で企業の付加価値率が高まっている点を指摘。グローバル化とデジタル化の中で、自らのモノづくりを見直さない限り輝きは取り戻せないと強調した。講義の概要は以下の通り。



白熱した講義に耳を傾ける塾生たち

学びを通じて日本のモノづくりはよみがえる

最終講義

ネットでは得られない“何か”がある

産業人クラブは経営者が集い、共に新しい価値を創造する“空間”です

新年度会員募集中

セミナー年4回実施
特別講演会年2回実施
工場見学会年1回実施
全国交流会年2回実施
若手交流会年2回実施
親睦ゴルフ大会.....年2回実施
新年合同祈禱会.....1月実施
賀詞交歓会1月実施

(2013年度 活動実績)



入会のお申し込み、お問い合わせは
神奈川産業人クラブ

〒231-0006 横浜市中区南仲通4-39-2 箕田関内ビル7F
(日刊工業新聞社 横浜総局内)
TEL 045(201)7421 FAX 045(201)7424



賀詞交歓会に講演する皇国銀行神奈川支店長

加工・溶接・塗装までをJIT対応で一貫生産



板金のことなら

トカイ工業株式会社

〒259-1306 神奈川県秦野市戸川3-3
TEL0463-74-2560 FAX0463-74-2561
http://www.tokaikg.co.jp